

●第1回 専門家会議(9/30)

〈委員〉
北園会長：防災、地盤防災専門
市川委員：地下水学専門
椋木委員：環境地盤工学専門
田上委員：地盤工学専門

〈谷尾崎地区〉
審議内容：「調査方針（方法、位置）」
「調査範囲」
委員意見：地盤調査箇所の追加、住宅・井戸の既存資料収集及び活用

〈池上地区〉
審議内容：「調査解析の手法」「現地計測との整合」「工事の影響」
「影響範囲」
委員意見：地盤沈下の「解析モデル」と「実際の沈下現象」の整合について一部指摘あり。



●市長現地視察(10/1)

〈目的〉
市長が直接現地を確認し、地元の生の声を聴き、迅速な対応に繋げるため実施

〈概要〉
・工事箇所、変状状況を確認。
・住民との意見交換

〈住民からの主な意見〉
・早期の原因究明 ・家屋調査の実施要望
・工事の安全対策の依頼 ・調査結果の情報提供依頼



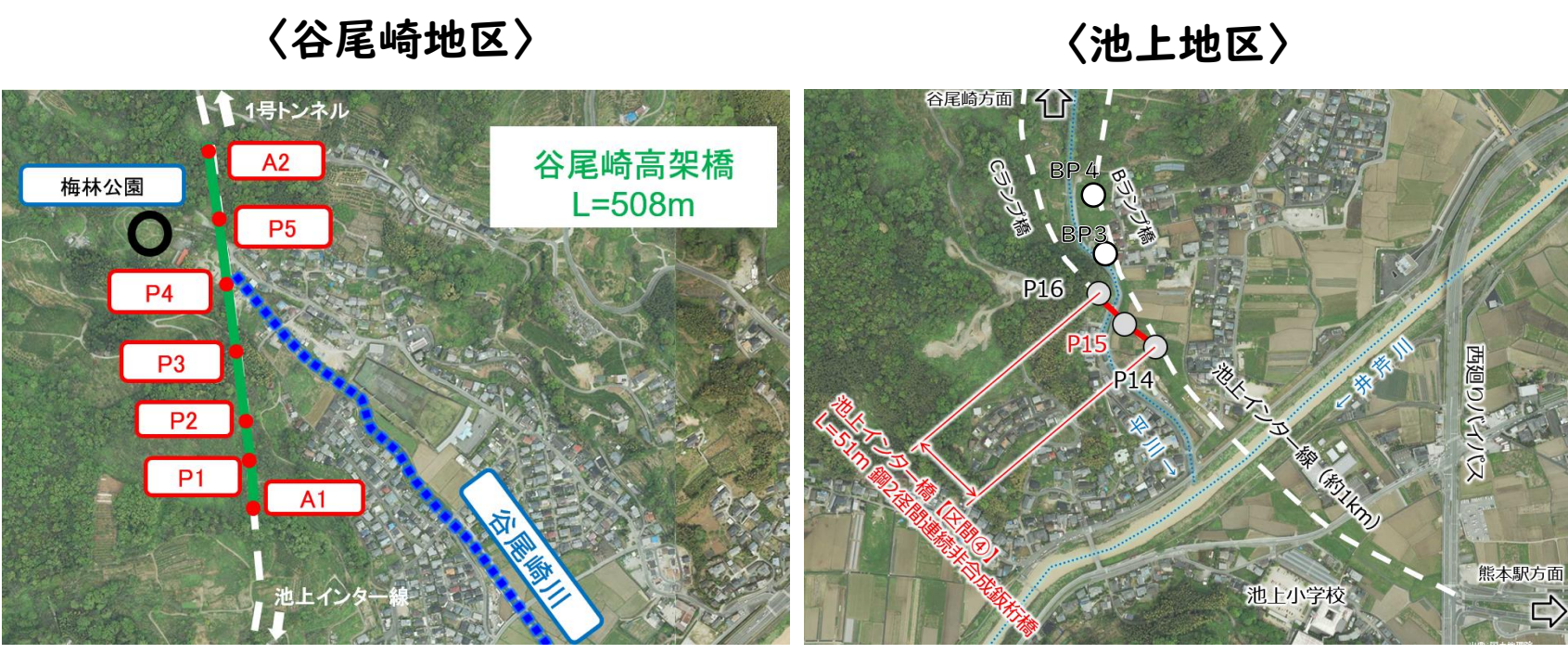
●委員現地視察(11/11)

〈概要〉
・工事及び地盤調査（ボーリング）、観測井の状況を確認
・建物外構部の変状状況を確認

〈委員意見〉
・工事箇所、調査した地層・地下水位等の高低関係について、分かりやすい基礎資料の作成が必要。
・調査試料（軟弱土）の物理試験の追加。
※北園会長所感
・谷尾崎地区で軟弱層を確認したが、現段階で因果関係は不明
・今後、ボーリング調査の解析等で判断していく。



●第2回 専門家会議(12/2)



【報告及び審議内容】

- 谷尾崎地区
 - ・第1回会議及び現地視察の振り返り
 - ・井戸調査の報告
 - ・地盤調査の報告
- 池上地区
 - ・橋脚工事（P15）周辺の調査・解析結果の報告
 - ・周辺橋脚工事（BP3, BP4）の施工方針



【委員からの意見】

- 谷尾崎地区
 - ・地層が複雑なため、3次元等で分かりやすい地層分布図の作成が必要。
 - ・沈下部の下層にある岩盤層は透水性が高いため、その上層の粘性土が沈下した可能性が考えられる。岩盤の透水試験の追加が必要。
 - ・工事による地下水位低下及び沈下への影響は継続して検討が必要。
- 池上地区
 - ・調査、解析結果がある程度まとまりつつあるため、中間のとりまとめを行うこととする。

【今後の予定】

- ・池上地区の中間とりまとめの時期は今後委員と調整。
- ・次回専門家会議は、R3年の1～2月頃を予定。